Die Eiche ディ アイヘ
http://www.jdg-chiba.com

Japanisch-Deutsche Gesellschaft
der Präfektur Chiba
〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1
清和会第２ワールドナーシングホーム内
電話 047-461-9111　Fax 047-461-7010

誰にでも簡単にできる

ドイツの家庭料理

F.ミルケライトさん招き　初の勉強会開く

若者や女性会員に、と協会活動の活性化を狙う金谷誠一郎会長の提案による「ドイツパンと料理の勉強会」が 10 月 1 日、船橋市・中央公民館で開かれた。会員ら 17 (男性 8、女性 9) 人が参加した (費用、1500 円)。

講師は（公財）日独協会の研修生、Felix Milkereit さん（37）=写真。フンボルト大学を卒業後、東海大、筑波大学で学んだ。18 歳の頃、世界的に著名な英国のシェフの番組に魅了されて料理にはまった。2020 年の東京五輪で、ドイツ体操チームの事前合宿所となる新潟県上越市に招かれて 8 月、ドイツ料理の講演と実演をして来た。帰国直前の慌ただしい中、協会の指導をかってでてくれた。

「ドイツには、伝統的な料理はない」と講師は語り、「地方により異なり、それぞれ周辺国の影響を強く受けた料理が多い」。全般的にはスパゲッティ、ピザなどイタリア風が人気なのだという。 ↗

ハンバーグ

朝のお袋の味

＜ベルリンのブレッテン(Berliner Buletten)＞

◆材　料（４人分）		◆作り方
合い挽き肉	600g	1. ライ麦食パンをボウルの
食パン	2枚	水に浸す。10分後に水を
玉ねぎ	1個	きり、手で十分こねる
卵	1-2個	2. 玉ねぎとにんにくを刻む
からし	小さじ2	3. ボウルにひき肉, からし,
にんにく	2片	パセリ, パプリカパウダー,
パセリ	小さじ2	こしょう, 塩, こねた食パ
パプリカパウダー	小さじ2	ン。刻んだ玉ねぎ, にんに
こしょう	小さじ2	く, 卵を。塩, こしょうで
塩	小さじ4	更に味付けし, よく混ぜ合
油	大さじ2	せる。濃いめの味付けを。

4. 濡らした手で上記タネを肉団子サイズの形に。更に小麦粉で衣をつけフライパンで油を熱し中火で両面焼き。

＜レシピをにらみ、ドイツ料理に挑戦する会員たち＞

↘「ハンバーグ」はベルリンで Bulette、北ドイツは Fleischklops、バイエルンでは Fleischpfanzl、シュバーベンは Fleischküchle と呼ぶ。Frikadelle という所も。もともと Hamburg で作られて米国に伝わり、世界の人気を集めている。この日はドイツ・レシピによるハンバーグ（Buletten）と、“神とお母さんが休み”の日曜朝、前日の残りもので作る Buernfrühstück 料理に挑んだ（２つのレシピは下段の表の通り）。

Bauernfrühstück はこってりとした朝飯で、母の特徴が出やすく“お袋の味”。ミルケライトさんはこれが一番好きだと顔をほころばせた。これは“農家の朝食”とも呼ばれ、ボリュームを好む牧場で働く人たちがよく作ったという。ミルケライトさんは「ベーコンは香りを出すためにじっくり炒める」などと、よどみない日本語を話しながら調理台を回っていた。

＜バウエルンフリューシュトゥック＞

◆材　料（4人分）		(Bauernfrüstück)	
茹でたジャガイモ	600g	パセリ	1.5
玉ねぎ	2個	ねぎ（アサツキ）	1.5
燻製のベーコン	200g	パプリカ（赤）	200g
卵	7個	甘いパプリカパウダー	小さじ2/3
牛乳	200ml	こしょう	〃
生クリーム	300g	塩	〃
とろけるチーズ	50g	ピクルス	2個

※ジャガイモは水分があり柔らく, 茹でた後崩れないもの

◆作り方：1. イモを鍋で水から弱火で茹でる。約25分。水を捨て冷まし, 皮をむき輪切りに 2. 玉ねぎをみじん切り。ベーコン, ピクルス, パプリカの果肉を小さく角切りに。パセリを細かく刻む 3. 卵, 牛乳, 生クリームをボウルの中で泡だて塩, こしょう, パプリカパウダーで味付けし粉チーズ, パセリを入れてよくかき混ぜる 4. フライパンでベーコンを焼きジャガイモの輪切り, 玉ねぎを入れ中火でイモの裏表が金色になるまで焼く 5. パプリカ, ピクルスを入れ塩, こしょうで味付けしながら更に約5分焼く 6. 混ぜた卵など(3.)を注ぎ入れ, 軽く混ぜ合わせながらふんわり焼く

習志野高で日独柔道交流

❜ Lass uns zusammen Judo spielen und Spaß haben.**セェ～ノ ダンケ!!**❛。150 畳ほどの柔道場に割れんばかりの爆笑と拍手が渦巻いた。

8 月 2 日午後、市立習志野高校。ドイツスポーツ少年団柔道選手 9 人（男子 3、女子 6）を迎えて平野龍也主将（2 年）が歓迎の挨拶を述べた時である。緊張気味の平野君はドイツ語にカタカナを振った紙片を手に「今日は蒸し暑いので水をちゃんと飲み、準備運動をきちんとして柔道を楽しみましょう」と挨拶し、最後の“セェ～ノ”に、部員 25 人が唱和したのだ。ドイツ選手団は一斉に膝を打ち、手を叩いて応じた。

同校を訪れたのは、フランクフルト・オーダー(Frankfurt am Order)で各種スポーツの選手育成を目指す Eliteschule des Sports の 12～18 歳の生徒たちである。一行は水泳、スキーなどドイツ各地からの 120 人とともに 7 月 21 日、44 回目の日独少年団同時交流(Simultanaustausch der deutschen und Japanischen Sportjugend)として来日した。柔道選手団はフンボルト大学の修士課程でスポーツ学を修めている柔道指導員、グレーガー・ヴェンツェルさん(24)らに引率されて栃木、群馬を回り、習志野市スポーツ振興協会の招きで千葉にやって来た。

女子部員がいない習志野高に千葉商高などから女子選手が加わって早速乱取りへ。男女の別なく、試合さながらの激しい技の応酬が続く。来日後の怪我で稽古に参加できない女子選手は畳に腰を下ろして、男子選手と厳しい組み手争いに汗を流した。平野主将は「ドイツの選手たちは女子も力が強い。足が長いので技がかかりにくい」などと話し、「英語が大切だと思った」と話していた。

シャワーを浴びた後、教室で 3 班に分かれて集団討論に=写真右。習志野高生が英語で名前、趣味などの自己紹介。...to read comics.にドイツ選手たちも納得の笑顔。ドイツでは「柔道における Freundschaft（友情）、Höflichkeit（礼儀）、Ehrlichkeit（正直）の教えが厳格にある」「日本と比べて帯の色が多く、黒帯になるには容易じゃない」との説明に習志野高生が頷く。スポーツや日常生活におけるフェアプレーとは、“あなたにとっての RESPEKT とは”、柔道 10 の価値などをめぐる話し合いが続いた。

習志野俘虜収容所 100 年
“蘇れ！柵の中の歌と演奏”
「町の音楽好きネットワーク」が呼び掛け

100 年前、第一次世界大戦時の習志野俘虜収容所。ここで「歌が生まれた」のを記念した『柵を越えた Musik』の演奏と講演会が 8 月 3 日、習志野市民会館で開かれた＝写真下。地域に根ざした演奏活動を続けている「町の音楽好きネットワーク」(戸田志香(ゆきこ)代表)が企画した。

当協会からの十数人を含めて約 300 人が参加した演奏会は、戸田さんの詩の朗読から始まった。H・シュトルムの「閉じておくれ　僕の眼を」(Schließe mir die Augen beide)。ヴァイオリンの奏でるメロディが静かに流れる。収容所にいた音楽家のハンス・ミリエスがこのシュトルムの詩に作曲したものだ。今年はシュトルムの生誕 200 年でもある。

講演：“世界と習志野収容所”も

講演は、大津留厚・神戸大名誉教授＝右写真＝による「世界の中の習志野俘虜収容所」がテーマ。日本に収容されたドイツ、オーストリア・ハンガリーなどの兵士、将校は約 5000 人。名誉教授によると、欧州ではロシアに敗れたオーストリア・ハンガリー兵の捕虜が 200 万人。オーストリア・ハンガリーが捕虜にしたイタリア、セルビア兵が 200 万人で、捕虜にされた兵士と収容した兵士がほぼ同じ。ドイツなどに捕まったロシア兵が 270 万人。英、仏、アフリカを含めると第一次大戦時の捕虜は計 800 万人近くにのぼったという。

捕虜を国際的な法体系で適正にどう対応するかが問題に。捕虜を人道的に扱うというハーグ条約はあったが、「それは保証にはならない」と教授は指摘し、お互いに適正に対応するかどうかの“相互主義”が重要になったという。カギは「情報」。中立国・米国や国際赤十字、YMCA などの宗教団体が世界各地の収容所を視察し、639 の報告書がまとめられた。同名誉教授は「習志野収容所は完璧なモデル収容所の役割を果たしていたと、報告書にあった」と結んだ。

捕虜の日記朗読をはさみながら、当時収容所で演奏されたシュトラウスの「春の声」、ゴダール「ジョスランの子守歌」「舞踏への勧誘」などの演奏やコーラスが続き、会場は遥か時を越えた詩と音楽の世界に思いを馳せていた。

9 月 18 日に私は初めてドイツ大使館に足を踏み入れた。千葉県日独協会の若手会員として推薦いただき参加したのだが、この日はヴェアテルン駐日大使のご挨拶から始まり、冷戦時代の東西両ドイツと統一後の同国で大使を務めた木村敬三氏からのお話、お食事や飲み物をいただきながら各地の日独協会会員の方々と歓談した。

ドイツ大使館の夏祭りに参加して

大田黒　訓子（のりこ）

＜大使と筆者＞

ヴェアテルン大使は、このような催し物を通じてドイツ大使館に多くの日本人が集まってきて、ドイツと日本の間にある架け橋が目に見える形で具現化されている、と嬉しそうに仰っていた。

次に木村氏が昭和天皇の通訳を務めた際、天皇が「あ、そう」と相槌をうったところ、ドイツ人は天皇が「Ach, so.」とドイツ語で応じていると勘違いし、ドイツ語がお話になれるのではないかと思っていたそうだ。

最後に、緑溢れるお庭で約 70 人の参加者の集合写真（上）を撮ることになり、“SNS に自分の顔が挙げられたら困る人がいますか”の問い掛けに、ウィットのある大使がわざと抜けだそうとする素振りを見せて会場が大きな笑いに包まれた。 今回の催し物で、ドイツと日本のつながりを更に身近に感じるようになった。

Düsseldorf 奨学生歓迎食会 今年も開催

ドイツ人奨学生 6 人（女性 2、男性 4）の歓迎夕食会が 8 月 22 日（火）の午後 6 時から京成船橋駅近くの居酒屋で開かれた。「デュッセルドルフ奨学財団」と「独日文化交流育英会」により 100 人から数度の面接により選抜された奨学生で、8 月 20 日から 9 月 16 日までの研修旅行のため来日した。

奨学生は医学、薬学、演劇、スポーツ学、コミュニケーション、経済エンジニアリングの分野でそれぞれ活躍している若者で、この日は千葉県庁の案内でサッポロビール船橋工場等を見学後、当協会

主催の歓迎夕食会に臨んだ。会員 11 人と純和風の居酒屋で、金谷会長が当協会の成り立ち、最近の活動の説明を交えた歓迎の挨拶で始まり、笹生千葉県国際課長が挨拶をした後「Ein Prosit」を歌ってのビールの乾杯の後、ドイツ語（日本語、英語も交えて）での懇談に楽しいひと時を過ごし、滞日 3 日目に普段着の日本の一面を理解してもらえたようだ。約 2 時間の短時間の交流ではあったが、約 1 時間後の席替えにより参加者全員との打ち解けた会話を楽しんでもらい、お土産の「扇子」をジャンケンで選んでもらう等の余興もあり盛り上がった中、別れを惜しんでお開きとなった。（お断り：この歓迎会は時間と人数の関係で、役員主体の対応となりました）　（杉田　房之）

Düsseldorf Abend
約 1000 人が参加して盛大に

東京赤坂のホテルニューオータニ芙蓉の間で 9 月 13 日午後 6 時から約 2 時間「デュッセルドルフの夕べ」が開催された。

デュッセルドルフ市、ノルトライン・ヴェストファーレン州、メッセ・デュッセルドルフ共催によるこの行事は 1981 年に始まり（州は 1995 年より参加）、今年で第 13 回目を迎え、開催者によると、今回も同市に勤務した日本側関係者及びドイツ側関係者を含め参加者は 1000 人を超え、懐かしい再会にアルトビアを飲み交わし、思い出話に花が咲く賑やかな夕べとなった。

開会の挨拶では、ガイゼル市長、ヤコービー州経済省代表のドイツ側ホスト、ヴェアテルン駐日ドイツ大使が一様にこれまでの絆が一層強くなることへの期待を表明、日本側は森田千葉県知事が挨拶、同知事の乾杯の音頭で宴会がスタートした。

当協会から平尾、宗宮両名誉会長ら9人も出席

当協会から平尾浩三、宗宮好和両名誉会長、金谷誠一郎会長ら 9 人が参加。当協会や千葉県国際課のコンタクト窓口であるレオンハルト経済振興局長とも来年の日本デーなどについても歓談した。今回のアルトビアの提供者（スポンサー）は 1850 年開業の「シュリュッセルーBrauerei zum Schlüssel」で 700 リットルが空輸されたという。　（橋口　昭八）

募 集!! ドイツ人留学生のホストファミリー

当協会は、千葉大学国際教育センター、同留学生課の協力で、会員がドイツ人留学生と直接触れ合う機会を作る受入家庭を募集します。日本人の日常生活や文化に接したいという留学生の希望も叶えるもの。2015 年 1 月、会員 4 人の家庭で初めて実現した交流を留学生の希望に随時、応えられるようにという試み。詳細は、同封の「お問い合わせ」をご覧いただき、ご回答を。連絡先：理事・渡部武弘。

E-mail:watatake@faculty.chiba-u.jp

Tel & Fax: 043-432-9252

ビール祭り 大いに飲み歌う

今年は、会場を千葉市花見川区の酒場に移して開催し、29（男性 23、女性 6）人が参加した。絶妙の司会役、須古正恒副会長自ら用意した歌集を手に、会員たちはお馴染みの福康子さんのピアノに合わせて“美声”を響かせていた。

◇これからの催し

催しもの	開催日	曜日	時間	場　　所	内　容　な　ど
習志野ドイツフェア	10/21	土	12:15	JR津田沼駅前津田沼公園	当協会協力。ドイツの歌と踊り。ビール、ワイン、ドイツソーセージの
	22	日	10:00	同モリシアビル前	販売。ビルが総選挙の投票会場になるため、協会の写真展示はなし。
懇親バス旅行	11/11	土	8:00	JR津田沼駅南口集合	『開国日本の原風景横浜＆日独ゆかりの史跡を訪ねて』。参加費用：
			-17:30		1人・7500円（昼食込）。詳細は別紙案内参照、同封のハガキで応募。
ドイツ軍人慰霊祭	11/19	日	11:00	船橋市市営習志野霊園＝同市習志野2-5-9 ☎ 047-465-5457/	慰霊祭後、直会。
Xマス＆忘年会	12/9	土	17:00	「越中音酒場はなぞの座」	参加費用1人・4500円（予定） 詳細は案内参照、同封のはがきで応募
			-19:00	=千葉市花見川区花園1-8-7 ☎ 043-307-7270 JR新検見川駅下車徒歩2分。	

◇会員の活動

かつらぎフィル定期	11/19	日	14:00	千葉県文化会館大ホール	指揮・伊賀美哲（当協会会員） ベートーベン「交響曲第9番合唱付き」
演奏会				=千葉市中央区市場町11-2 ☎043-222-0201/ シューベルト「未完成」 入場料1000円(前売り800円)	
				※かつらぎフィルは県立千葉高、同津田沼高OB/OGで構成、千葉混声合唱団が加わる。	
千葉フォーラム歴史・	11/22	水	15:30	船橋市中央公民館	歴史に関わる勉強会。代表、須古正恒・当協会副会長。講師は宗宮
文化の会			～	＝船橋市本町2-2-5	好和氏（当協会名誉会長） テーマ「東日本大震災の被災地を訪ねて」
			17:30	☎ 047-434-5551	参加費用1人・1000円 申込:E-mail:suko15921@jcom.zaq.ne.jpへ

新入会員紹介

◇永池　克明（73）＝習志野市奏の杜
◇本橋　　緑（47）＝船橋市習志野台
◇竹内　　優（23）＝市原市ちはら台　（敬称略）

お断わり

※コラム「ドイツと私」は誌面の都合で休載しました。

割引きのお知らせ

M・ルター宗教改革 500 年を記念して演奏されるブラームス「ドイツ・レクイエム」（10/31 火　東京芸術劇場＝東京豊島区で。R・ライカー指揮 東京音大オーケストラ・合唱団 ）は、当協会員に限り 10 人以上なら、A 席が半額の 1 人・2500 円に。希望者は常任理事・田中正延へ ☎ 047-453-3530/ 携帯 090-4392-9808 /E-mail:dennmasa6457@jcom.zaq.ne.jp/ Die Eiche 2017.4 月号、8 月号参照。

運営委員会から

□2018 年新春講演会は 2 月 10 日（土）午後 3 時半から船橋市中央公民館（予定）。講師は国立民俗歴史博物館館長、久留米浩氏。演題は『「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」展―↗

↘　その後のシーボルト研究』（仮題）。

□2018 年ドイツ旅行は「ベルリンとエルベの旅」（仮称）を旅行担当者で検討中。5 月 26 日のデュッセルドルフ日本デー参加と、それ以外の 2 案。出発は 5 月末から 6 月初旬になる予定。

編集後記

◇日独交流が盛んです。ハインリヒ・ハイネ大学合唱団が 9 月 24 日、千葉・県民祭で見事なハーモニーを披露してくれました。市立習志野高の柔道交流は驚きの連続でした。選手たちが男女の別なく襟を掴み合う。乱取りを終えるドイツ選手に殺到する同高の生徒たち。高校時代に柔道をした私には想像もできない光景でした。外国人に物怖じしない態度は言葉の習得に限らず、頼もしいと感じました。◇最近、協会への新入会員が増えつつあります。新たな試みのドイツパン・料理勉強会やドイツ語講習会、旅行など各種イベントを通じて会員を勧誘し、協会を活性化して日独交流の輪を拡げるよう努めたいと思います。　（M.T.）